

広域営農団地農道が全線開通しました

長野市北部、飯綱町、信濃町につながる広域営農団地農道(愛称・北信五岳道路)の県道長野荒瀬原線吉地籍から豊野町大倉までを結ぶ「豊野ライン」(延長約6.3キロ)における未開通部分がこの程開通し、「信濃ライン」(延長約11.4キロ)と合わせて全線開通したことから、平成28年12月20日(火)、吉地籍に新設された宇佐美沢交差点付近で開通式が行われました。

当日は晴天の元、始めに道路の安全祈願が執り行われ、阿部長野県知事や加藤長野市長などによるテープカット、その後



行われたくす玉開披には来賓として出席した粟野原会長と宮澤吉区長が参加しました。
式典終了後、白バイ隊の先導によるオープニングパレードで開通式を締めくくり、同日の午後3時から一般開放されました。

この農道は、農作物輸送の効率化と地域交通の利便性向上を図るため、平成4年4月に着工し、平成28年12月まで、実に25年の期間を経て全線開通に至りました。
吉地籍から豊野町大倉までが開通したことにより、若槻地区から信州中野インターチェンジまでの所要時間は大幅に短縮されました。
なお、ご通行の際は安全運転をお願いいたします。